

人間社会学部／社会福祉コース	職名	准教授	氏名	寺島 正博
----------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

主な研究対象については、知的障害者のグループホーム（以下、GHと省略する）従事者における専門職性、および、無自覚の障害者虐待等である。

GH従事者の専門職性については、近年の「地域生活移行」の風潮に伴いGHは増加の一途を辿っている。しかし、利用者の増加に伴いニーズは多様化をみせ、その範囲は拡大し続けているにも関わらず、それを受け止めるGH従事者の専門職性が必ずしも追いついていない。「GH従事者は専門職と成り得るのか」といった研究テーマを設定し、歴史研究や理論研究、さらには、実態解明の研究を基に専門職への道筋について探究してGH従事者の専門職性を実証的に検討している。

また、昨今、新聞等が大きく報道しているように、障害者への虐待は重大な人権侵害となる。この障害者虐待に対し、国内外で未だ明らかにされていない無自覚の虐待（障害福祉サービス従事者・養護者・使用者が自覚をせずに障害者へ行う虐待）に着目し、その実態を明らかとし、無自覚の虐待の防止に向けた支援モデルの研究を行っている。

具体的には、障害福祉サービス従事者や市町村虐待防止センター職員等が、無自覚の虐待に対し、被害者（障害者）と加害者（障害福祉サービス従事者（同僚）・養護者・使用者）にどのような意識を持ち、どのような支援を展開し、どのような支援課題を抱えているのか、また、無自覚の虐待の発生要因と個人属性や環境がどのような関係性にあるのかを明らかとし、無自覚の虐待の防止に向けた支援モデルの構築を行っている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・（単著）寺島正博「基幹相談支援センター職員における『養護者による障害者虐待』への対応支援に関する研究－虐待対応経験を持つ職員の全国意識調査を基に－」（査読有）『障害理解研究』第 J23 号，2022 年，1-13 頁。
- ・（共著）寺島正博・廣田久美子・石崎龍二「特例子会社における業務支援のための ICT ツール導入の実績と課題－インタビュー分析から見る障害者雇用と効率化の展望－」『福岡県立人間社会学部大学紀要』第 32 巻第 2 号，2024 年，23-29 頁。
- ・（共著）石崎龍二・寺島正博・廣田久美子「高齢者通所介護事業所における福祉関連機器・用具の現状と課題－A 県における質問紙調査によるニーズと課題の分析－」『福岡県立人間社会学部大学紀要』第 32 巻第 2 号，2024 年，71-83 頁。
- ・（共著）寺島正博、石崎龍二、柴田雅博「保育所・認定こども園における ICT 導入の実績とそれに伴う業務効率の意識 - A 県におけるアンケート調査を通じて - 」『福岡県立人間社会学部大学紀要』第 31 巻第 1 号，2022 年，57-70 頁。

- ・（共著）寺島正博、石崎龍二、柴田雅博「介護サービス事業所における ICT 導入の実績とそれに伴う業務効率の意識 - A 県におけるアンケート調査を通じて - 」『福岡県立人間社会学部大学紀要』第 30 巻第 1 号，2021 年，63-75 頁.
- ・（共著）寺島正博、石崎龍二、柴田雅博「障害福祉サービス事業所における ICT 導入の実績とそれに伴う業務効率の意識 - T 県におけるアンケート調査を通じて - 」『福岡県立人間社会学部大学紀要』第 29 巻第 2 号，2021 年，47-60 頁.

②その他最近の業績

<解説集>

- ・（共著）『2024 社会福祉士国家試験過去問解説集』中央法規，2023 年.
- ・（共著）『2024 精神保健福祉士国家試験過去問解説』中央法規，2023 年.
- ・（共著）『2023 社会福祉士国家試験過去問解説集』中央法規，2022 年.
- ・（共著）『2023 精神保健福祉士国家試験過去問解説』中央法規，2022 年.
- ・（共著）『2022 社会福祉士国家試験過去問解説集』中央法規，2021 年.
- ・（共著）『2022 精神保健福祉士国家試験過去問解説集』中央法規，2021 年.

③過去の主要業績

- ・（単著）寺島正博『障害者の地域移行への援助ーグループホーム従事者の専門職性』文芸社，2012 年.
- ・（単著）寺島正博「障害福祉サービス従事者における『養護者による障害者虐待』の支援に関する研究ー全国訪問系サービス事業所のアンケート調査を通してー」（査読有）『発達障害者支援システム学研究』第 19 巻第 2 号，2020 年，103 - 113 頁.
- ・（単著）寺島正博「障害福祉サービス従事者における『無意識の不適切行為』に関する研究ー目撃従事者の観点によるその発生・増幅要因とその意識化要因の検討ー」（査読有）『障害理解研究』第 19 号，2018 年，11-20 頁.

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

- ・ 日本社会福祉学会
- ・ 日本ソーシャルワーク学会
- ・ 日本発達障害学会
- ・ 日本発達障害支援システム学会
- ・ 日本障害理解学会

6. 担当授業科目

<学部>障害者福祉論・2単位・2年・前期、精神保健福祉の原理Ⅰ・2単位・2年・前期、就労支援・1単位・3年・前期、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・2単位・2年・通年、相談援助実習指導Ⅱ・2単位・3年・通年、相談援助演習B・2単位・3年・通年、ソーシャルワーク演習B・2単位・2年生・通年、ソーシャルワーク演習C・1単位・3年・前期、ソーシャルワーク演習D・1単位・3年・後期、相談援助演習C・1単位・3年・後期、社会福祉学演習・2単位・3年～4年・後期～前期、卒業論文・6単位・4年・通年
<大学院>障害者福祉研究B・2単位・1・2年・後期

7. 社会貢献活動

- ・福岡県障がい者施策審議会 会長
- ・田川地区障がい者自立支援協議会 会長
- ・田川市障がい者福祉基本計画等策定・推進委員会 会長
- ・飯塚市指定管理者選定委員会 委員長
- ・糸田町公共交通会議 副委員長
- ・みやこ町地域福祉総合計画審議会 委員
- ・糸田町地方創生人口減少対策委会 委員

8. 学外講義・講演

- ・長崎南高校のSSH事業「未来デザインスクール」講師
- ・豊前市人権センター「障害福祉サービスにおける無意識の不適切行為への理解」講演

9. 附属研究所の活動等

- ・「保健福祉分野における業務改善のための情報ネットシステム・モデル開発」令和5年度研究奨励交付金（COC研究）研究代表者、305,200円（令和5年度）、令和5年度～令和6年